

平成 28 事業年度

事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日から

平成 29 年 3 月 31 日まで

公益財団法人周南市ふるさと振興財団

目

次

I	市民が輝くふるさとづくり	
1	コミュニティ（地縁型）	2
2	市民活動（テーマ型）	5
II	ものからひとへのふるさとづくり	6
III	明日へつなげるふるさとづくり	8

平成 28 年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団事業計画

平成 25 年度から公益財団法人に移行した当財団は、「ふるさと振興を使命とする財団」である。

地域で支え合い、助け合う「絆」が改めて見直される中、地域課題の解決や特色を生かした個性的なふるさとづくりに取り組むコミュニティ推進組織の重要性が高まっており、財団にはコミュニティ活動の中核支援組織として、地域の自主的・主体的な活動を促すため、より大きな役割を果たしていくことが求められている。

平成 28 年度は、第 3 期ふるさとづくり推進プランの初年度に当たる。これまで行ってきた事業の更なる充実を図り、事業項目にあげた各地区コミュニティ推進組織の共通課題である「若者参画の推進」及びコミュニティ推進組織目線にたった支援である「コミュニティ推進組織・活動へのコーディネート」に力を入れていきたいと考える。

また、地域資源である地場製品の紹介や、指定管理者として管理運営を行う公共施設を活用したふるさと振興においても、コミュニティの支援・振興との関連性の強化を目指しながら、引き続き取り組んでいく。

平成 27 年度末でふるさとづくりの拠点施設として運営していた「向道湖ふれあいの家」「新南陽ふれあいセンター」の周南市からの受託が終了することから、現在の事務所を拠点施設として強化し、より市民目線に立ったふるさとづくりを進めていく。

I 市民が輝くふるさとづくり

予算 2,829,000 円
(H27 予算 3,205,000 円)

市民一人ひとりが、地域コミュニティ活動やテーマ型の市民活動の担い手として、自主的・主体的に参加するふるさとづくりを支援することで、魅力あるふるさとづくりを目指す。

主な支出		財源
職員手当	743,000 円	基本財産運用収入
使用料及び賃借料	212,000 円	ふるさと振興基金繰入金収入
負担金補助及び交付金	1,180,000 円	
報償費・消耗品費 等	694,000 円	

1 コミュニティ（地縁型） 予算 1,800,000 円 (H27 予算 2,540,000 円)

① コミュニティ情報の提供

予算 125,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P6

- ◎ 各地区コミュニティ情報の収集
提供者：各地区情報提供者・公民館 等
各地区を回り、情報収集を実施
- ◎ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページの運営
アドレス <http://gokan-furusato.org/community/community.html>
- ◎ 周南市コミュニティ推進連絡協議会広報誌の発行（年4回）
- ◎ シティーケーブル周南のコミュニティPR・紹介番組への協力
- ◎ フェイスブックによるリアルタイムな情報収集・提供



[公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信]

主な支出		財源
事務用品等消耗品	32,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入
複写機使用料	93,000 円	

② 特色あるコミュニティ活動への支援

予算 640,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 特色あるコミュニティ活動助成金

(最大10万円×最大3地区×最大2年間)
 平成27年度選定団体への助成(和田・長穂・高水)
 平成28年度選定団体への助成(平成28年3月末決定)
 平成29年度選定(平成29年1月～3月)

※ 写真:平成27年度助成 高水地区「通学合宿たかみず」



◎ 周南市地域づくり推進計画への協力

各地区コミュニティ推進組織の活動がより効果的になるよう市民活動団体・企業等との連携支援

[公益目的事業1 (1) コミュニティ活動(地縁型)の支援 ア.特色あるコミュニティ活動への助成]

主な支出		財源
コミュニティ活動助成金	600,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入

③ コミュニティ推進組織・活動へのコーディネート

予算 641,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 各地区コミュニティ推進組織の現状把握

各地区の総会資料収集(4月～7月)
 中央部を中心に各地区の総会視察(4月～7月)

◎ 各地区コミュニティ推進組織の分析

平成27年度、実施したヒアリング調査の分析(4月～6月)

◎ 各地区コミュニティ推進組織からの相談対応(随時)

◎ 各地区の活動への支援・発展に向けた提案(随時)

◎ 各地区の自主財源確保への支援

イベント等の出店紹介(さくら街道まつり・花☆ワイン周南まんま市場 等)

◎ 各地区の新公民館主事へのヒアリング調査(5月)

◎ 組織間(地区間)ネットワークの形成支援

※ 平成27年度 北部地域交流会実施支援(2月)

◎ 地区行事の開催支援

和田地区 新春寄席開催(1月)

◎ 特色ある活動へのアドバイス・人的支援

大津島地区 アイランダーへの出展支援(11月)



[公益目的事業1 (1) コミュニティ活動(地縁型)の支援 ウ.コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業]

主な支出		財源
職員手当	302,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入
出演者謝金	100,000 円	

④ 若者参画の推進

予算 141,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 若者の地域参画推進プラン

- 若者による各団体のネットワーク形成に向けた取組
- 若者の各団体による先進地視察研修
- 若者による地域活性化グループの立ち上げ支援
- 周南市コミュニティ推進連絡協議会の事業参加への取組
- 各地区コミュニティ推進組織と若者による各団体の連携
- 各地区コミュニティ推進組織と多様な主体の連携



[公益目的事業 (1) コミュニティ活動 (地縁型) の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業]

主な支出		財源
職員手当	70,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入

⑤ ふるさと応援隊の支援・推進

予算 131,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 活動支援

- 活動案内・活動支援・活動ごとに報告書作成
- 主な活動
 - 総会 (5月)・月1回の定例会
 - コミュニティ活動の応援 (須金なしぶどう祭り 等)



[公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動 (地縁型) の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業]

主な支出		財源
公用車用燃料費	51,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入
活動案内郵送料	49,000 円	

⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営

予算 122,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 事業支援

- 事業案内・企画支援・運営支援・報告書作成 等
- 事業予定
 - 正副会長会議 (随時)・役員会 (5月)・総会 (6月)
 - 事務局担当者研修 (7月)・交流集会 (11月)・三団体視察研修 (11月)
 - 三団体交流会 (12月)・若者参画事業 (2月)
 - イベント器材の貸出・修繕 等



[公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動 (地縁型) の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援]

主な支出		財源
事業負担金	80,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入

2 市民活動（テーマ型）

予算 1,029,000 円 (H27 予算 665,000 円)

① 市民活動情報の提供

予算 3,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P8

◎ 市民活動情報の収集・提供

(提供者：市民活動団体・市民活動支援センター 等)

[公益目的事業 1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信]

主な支出		財源
事務用品	3,000 円	基本財産運用収入

② 特色ある市民活動への支援

予算 914,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P8

◎ しゅうなん元気活動支援事業助成金

(最大 10 万円×最大 5 団体)

平成 28 年度選定団体への助成 (平成 28 年 3 月末決定)

平成 29 年度選定 (平成 29 年 1 月～3 月)

※ 写真：平成 27 年度助成

勝間見守り隊実行委員会

「～(なにになに)しながらの見守り活動の推進」

◎ 周南市地域づくり推進計画への協力

市民活動がより効果的になるよう市民活動団体同士・地域活動団体・企業等との連携支援及び取組支援



[公益目的事業 1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ア. 特色ある市民活動への助成]

主な支出		財源
職員手当	371,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入
市民活動助成金	500,000 円	

③ 市民活動団体への支援

予算 112,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P8

◎ 市民活動講座の開催



[公益目的事業 1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催]

主な支出		財源
講師謝金	20,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入
講師旅費	54,000 円	

II ものからひとへのふるさとづくり

予算 7,515,000 円
(H27 予算 7,740,000 円)

地場産品には環境保全や伝統・文化の継承といった働きもあることから、地域おこしのために欠かせない原動力のひとつである。

そこで、地場産品を通して都市と農山漁村の人とひととのふれあい・交流を大切にしながら地産地消を推進する。また、周南市の地場産品について興味・関心を持ち、より理解を深めるきっかけづくりと体験を通じた学ぶ場を提供し、もの（地場産品）からひと（ふるさとづくりの担い手）へとつながるふるさとづくりを目指す。

主な支出		財源
人件費	4,108,000 円	基本財産運用収入、周南市補助金、販売手数料、ふるさと振興基金繰入金収入、雑収入
消耗品費	447,000 円	
光熱水費	1,208,000 円	
使用料及び賃借料	1,030,000 円	
公課費等	722,000 円	

① 地場産品情報の提供

予算 7,253,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

- ◎ 地場産品、生産者の思い入れ(作るこだわり、愛情、苦勞、生きがい等)、料理方法(郷土料理・行事食・地域食等)の紹介
印刷物(ふるさと産品の店“こあ”で配布)及びホームページ等による情報提供
- ◎ フェイスブック・ブログ・ホームページによるリアルタイムな情報提供
アドレス <http://gokan-furusato.org/core/>
- ◎ ふるさと産品の店“こあ”の運営
ふれあい・交流による地域と人のつながりを大切にした地場産品の紹介・販売
地域の日の設定(熊毛・鹿野・新南陽・八代・和田の日)
地産地消の食の提供
セット品等贈答用の利用促進



〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な支出		財源
人件費	4,108,000 円	基本財産運用収入、周南市補助金、販売手数料、ふるさと振興基金繰入金収入、雑収入
光熱水費	1,208,000 円	
家賃等使用料	1,025,000 円	

② 地場産品生産者への支援

予算 251,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ こあふるさと市の開催支援

こあふるさと市協議会開催（年3回程度）

火曜日（10:00～12:30） 木曜日（13:00～15:30）

桜まつり 4月3日 歳末市 12月28日

◎ 地場産品を活用した体験講習会の開催

しそジュースづくり体験・みそづくり体験・地域食体験教室 等



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な支出		財源
講師謝金	103,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入
イベント用品等消耗品	104,000 円	

③ 地場産品を活用した連携支援

予算 11,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ 公益財団法人周南地域地場産業振興センターとの連携

生産者の紹介、周南ものづくりブランドのPR協力

◎ 一般財団法人周南観光コンベンション協会との連携

特産品委員会出席等

◎ 学校との連携（課題授業、総合学習等の受入れ等）

徳山大学経済学部教養ゼミⅠ、徳山商工高等学校、熊毛北高等学校、岐陽中学校



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な支出		財源
消耗品費	11,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金収入

Ⅲ 明日へつなげるふるさとづくり

予算 50,125,000 円
(H27 予算 52,274,000 円)

周南市の各地域で培われてきた伝統や文化、豊かな自然と風土、活発な産業活動などの地域資源を基盤としたふるさとづくり情報を発信する。また、次世代のふるさとづくりを担う子どもたちや青少年を育成するためのふるさとづくり拠点施設を管理・運営する。

主な支出		財源
人件費	41,867,000 円	基本財産運用収入、会費収入、周南市指定管理料、ふるさと振興基金繰入金収入、退職手当積立金繰入金収入、退職手当給付準備積立金繰入金収入
光熱水費	610,000 円	
委託料	1,503,000 円	
公課費	2,401,000 円	
通信運搬費等	3,744,000 円	

① ふるさとづくり情報の提供

予算 993,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

- ◎ 財団ホームページの運営
- ◎ 地域づくり支援ポータルサイトの構築
- ◎ フェイスブックによるリアルタイムな情報収集・提供
- ◎ 機関紙の発行
- ◎ ふるさと通信会員の管理
- ◎ 周南市に関わる書籍・映像・資料等の収集・貸出
- ◎ **ふるさと周南を五感で感じる情報発信**



[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア.ふるさとづくりに関する情報の提供]

主な支出		財源
味の宅配便産品等消耗品	374,000 円	基本財産運用収入、会費収入、ふるさと振興基金繰入金収入
通信運搬費	266,000 円	

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ 周南市大田原自然の家

財団が指定管理を受けている大田原自然の家をふるさとづくり拠点として活用し、これからのふるさとを担う子どもたちや青少年に自ら学ぶ意欲、人間関係を築く上で大切な豊かな心などの「生きる力」を育むことを目指す。

- ・ 体験プログラムの提供
自然・食・人とふれあいながら学ぶ 40 種類の体験プログラムを提供する。
- ・ 子ども・家族対象の体験事業
自然や食、人とふれあえる 38 事業を企画し、将来のふるさとづくりを担う豊かな心を持つたくましい子どもの育成と子育て家族の支援を行う。
- ・ 食農・食育体験農園の管理
中高生ボランティアによる「シャトルファーム」事業で収穫体験ができるちびっこ農園の管理を行う。
- ・ ボランティアと指導者の育成・連携
体験活動をさらに効果的なものとする為、活動に関わる中学生から高齢者までの幅広いボランティアの育成・連携を図る。
- ・ 地域との連携
自然の家と地域コミュニティ、ボランティア、利用者が連携し地域の活性化を図る。
- ・ 自然の家の情報の提供
フェイスブック、ホームページ、市広報、チラシや機関紙等、様々な媒体で情報の発信に取り組む。
アドレス <http://www.city.shunan.yamaguchi.jp/ootabara/>



[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営]

主な支出		財源
人件費	41,867,000 円	周南市指定管理料、ふるさと振興基金繰入金収入、退職手当積立金繰入金収入、退職手当給付準備積立金繰入金収入
浄化槽維持管理等委託料	1,503,000 円	
消費税等公課費	2,401,000 円	
光熱水費等	3,361,000 円	
合計	49,132,000 円	